



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 株JA情報サービス

今の特集 4～5面

春 節句や卒入学に秦野産
桃の節句や卒業・入学などに合わせ、
農家は良質な農産物を生産する他、直売
所に季節感を演出する。飲食店は、桜の
メニューで特産品をPRしている。

はだの農業満喫CLUBに登録を

はだの都市農業支援セ
ンターは、農産物の収穫
会員を募集しています。
などが体験できる「はだ
年2回、イベント情報を

メールでお届けします。
QRコードを読み取って
登録フォームにアクセ
スして必要
事項を入力してくださ
い。これからの時期は、
新タマネギの収穫、落花
生・サツマイモ・田んぼ
の農園オーナーなどを企
画しています。



ブロッコリーを収穫する古谷さん

栄光の大臣賞 山口勇さんW受賞

茶園、製造ともに評価



宮永組合長(左)から賞状を受け取った山口さん

山口さんは「おくみど
り」の荒茶と「つつひか
り」の8割の圃場を出荷。
製造・茶園管理ともに、
品種の特性に合わせた高
い技術が評価された。
同会は表彰式の開催を
予定していたが、感染症
の影響で中止となった。
2月16日に副会長を務め
るJAはだの宮永均組
合長が、山口さんに賞状
を手渡した。

県茶業振興協議会は、
昨年7月に茶葉の香気や
滋味などを審査する県茶
品評会と、同11月に茶園
の土壌管理や整枝・均整
予選を含めて264点に
度などを審査する県茶園
共進会を開催。県内の茶
生産者からの出品数は、
品評会と、同11月に茶園
予選を含めて264点に

山口さんは「製茶、茶
園管理ともに高い評価を
いただけてうれしく思
う。今後も五感を生かし
ながら茶製造に励み、丁
寧に取り組んで良質な茶
を生産していきたい」と笑
顔を見せた。

新鮮ブロッコリー味わって

秦野産の新鮮なブロッコリー
種を植え付け、10月末から3月
が、多くの消費者から人気を集
めている。生産者は丹精して育
てたブロッコリーを届けよう
と、連日作業に励んでいる。
菩提の古谷さんは、約20畝
で栽培。収穫時期の異なる4品



古谷さんは「安全・安心にこ
だわって栽培している。味を気
に入って自宅前の直売に買いに
来てくれる人もいて、やりがい
を感じる」と笑顔を見せた。

JA事業へのご意見を



号の内容や
り込んであ
る事業特集
中面に折

今年度の「春の座談会
は、新型コロナウイルス
感染症の拡大防止のた
め、開催方法を変更し、
組合員の皆さまの意見・
要望をメールやFAXな
どで受け付けます。

3月28日(月)から4月8日(金)まで

JAの事業などについ
て、ご意見・ご要望のあ
る方は、3月28日(月)
から4月8日(金)まで
上記のQRコードを読
み取ってメールを送信す
るか、「意見・要望書」
をFAXまたは本所・各
支所・支店に直接提出し
てください。多くのご意
見をお待ちしています。

Sun's Gelato 4月21日(木)オープン予定



JAはだのは「堀川入
口」交差点側の本所敷地
内にジェラートショップ
「Sun's Gelato」
(サンズジェラート)
を開店する。オープンは
4月21日(木)を予定し
ている。季節ごとにさま
ざまな種類のジェラート
を販売する。

JAは、若い世代にJ
Aや農業に関心を持って
もらうきっかけにするた
め、同店を新設。ジェラ
ートは約10種類を用意す
る。季節ごとにメニュー
を変え、秦野の農産物を
使用したオリジナルの味
も用意する予定だ。店内
飲食が可能で、飲食スベ
イス14席を設置してい
る。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

協力して獣害防ごう

対策強化に各組織が連携



協力してネットをくり付けた



パルシステム職員らと防護柵を設置

市内で、地域や組織が連携した獣害対策への取り組みが進んでいる。山谷生産組合と才玉生産組合の防護柵の設置に生活協同組合パルシステム神奈川が参加した他、菖蒲の生産者のために菖蒲第2・第3生産組合や上支所運営委員会が協力。地域の農業を守ろうと、結束を強めている。

生協職員も設置に汗

本町・東地区

2月19、23の両日、曾屋の山谷生産組合と名古木の才玉生産組合が、防護柵を設置した。作業には約70人が参加し、J Aが協同組合間連携協定を結ぶパルシステムの職員も協力した。

「生産者のため」協力

上地区

2月26日、菖蒲第2・第3生産組合や上支所運営委員会のメンバーら25人が、ステンレス入りネットを設置した。獣害に悩まされている生産者のために、対策強化に乗り出した。

菖蒲地区では、鹿の侵入防止ネットや電気柵を活用してきたが、老朽化や管理の負担が大きいことが課題だった。諸星一雄さんら生産者3人は、ワイヤメッシュとネットを設置することを決めた。

設置場所は、合計1・2畝の畑の外周約1キロ。害対策のモデルケースになれば」と話した。

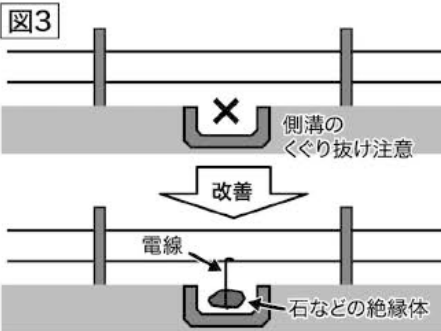
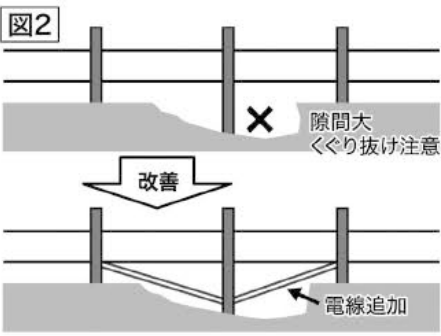
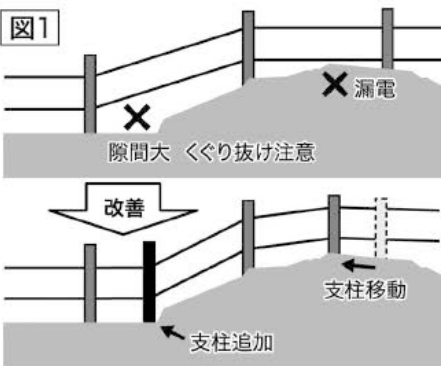
農機の整備しつかり

生産組合が講習会

J Aはだのは10日、北前に、組合員に農業機械などの整備を進めてもらう講習会を開いた。春と秋の農繁期と、各生産組合を対象に開いているもの。北

矢名北部生産組合のメンバー10人に、整備方法を伝えた。参加者は、トラクターや動力噴霧器など13台の農業機械を持ち寄った。各自でエンジンオイルを交換した他、農業機械センターの職員から、エアクリナー

などのパーツの外し方や部品を洗浄する重要性を聞きながら、整備を進めた。高橋宏明生産組合長は「生産組合で集まって整備することで、機械の安全使用の意識付けになる。組合員同士のコミュニケーションの場にもなるので、定期的に続けていければ」と話した。



鳥獣害



営農技術 ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (朝原・矢野・島田)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

・果樹花き課	果樹 (笹屋)	・作物加工課	作物 (木村)
・野菜課	花き (青木)		加工 (中山)
			(草野)

地形に合わせて電気柵を設置
2021年9月号で、電気柵の仕組みや適切な設置・維持管理の方法についてお伝えしました。今回は、斜面地や凹凸、側溝をまたぐ農地に電気柵を設置する方法についてお伝えします。

「イノシシや鹿は跳躍能力が高い」という情報から、動物の侵入を防ぐためには「障害物の高さだけを気にしていれば大丈夫だ」と考えがちにな

ります。しかし実際には、動物が障害物を飛び越えて侵入することは、ほとんどありません。動物にとつて、跳躍して農地に侵入することは、脚をけがするリスクが高くなるからです。

動物にとつて脚の負傷は死活問題となるため、なるべくリスクの低い、障害物と地面の間にでき隙間を通り抜ける行動を取るのです。そのため、図2のように、支柱と電線の追加や、支柱を移動することで、地面からの電線の高さを一定にして、侵入を防ぎます。また、側溝をまたぐ農地の場合は図3のように、石などの絶縁体を重りにしてつり下げ、電線と結ぶことで、側溝からの動物の侵入を防ぐことができます。

地形をよく見て、電線の高さを一定に設置しましょう。

(朝原)

J Aグリーンは農家を応援します 春野菜作りの資材 割引キャンペーン



J Aグリーンはだのは4月6日(水)～13日(水)、春野菜作りにぴったりな肥料や農薬などの割引キャンペーンを実施します。期間中は人気商品を特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。

お問い合わせはJ Aグリーンはだのまで。☎81-7719

コロナ禍でも楽しんで

活動DVD ダンス、コーラス、舞踊… デイに贈る



DVDを受け取る甲斐所長(右から2番目)

女性部は2月21日、JA神奈川県厚生連の通所介護施設「JAデイサービスセンターはだの」へDVDを寄贈した。昨年11月に目的別趣味グループが活動記録として製作したもの。横田真弓部長ら3人が施設を訪れ、甲斐さとみ所長に手渡した。

目的別趣味グループは、

2019年まで、ボランティアとしてセンターへ定期的に訪問。歌や踊りなどを通して利用者と交流する活動も自粛が続く中「動画にすればセンターの利用者に発表を見てもらえるのでは」と、DVDの製作を発表。各グループは、ダンスやコーラス、舞踊など15グループ160人の発表を撮った。

影。合計約100分の動画にまとめた。グループごとにチャプターを分け、他、好きなグループを選んで気軽に視聴できるように、出演順が記載された用紙を同封した。

甲斐所長は「グループの発表や交流を楽しみにしている利用者も多いので、今回DVDをいただけてありがたい。コロナが終息したらまたボランティアをお願したい」と感謝を述べた。

横田部長は「コロナ禍でボランティアとしての訪問はできないが、それぞれのグループの発表を見て楽しんでもらえたらうれしい。利用者の増加にも貢献できれば」と話した。

安心して 活動して 体調チェック帳配る

女性部は、コロナ禍でも安心して活動できるように、参加する部員の健康状態を確認している。3月には、新たに体調管理チェック帳を作成。全部員に配布し、多くの部員に安心して参加してもらえる体制を整えている。



新たに作成したチェックシート

イベントで、体調のチェックシートを活用していることを知った。部員の体調が記録で分かることによって、誰もが安心して活動に参加できるのではないかと考え、本部役員会で作成を提案した。

チェック帳

は、日付記入欄の他、体温やのどの痛み、体のだるさなど八つの項目を用意。自由に記入できる項目



ポイントカードのプレゼント

ポイントためプレゼント

女性部は、2021年度ポイントカード制度で交換できるオリジナルグッズを製作した。21年3月から22年2月までの1年間でたまったポイント数に応じ、プレゼントするもの。同制度のプロジェクトチームがポイントを集計し、3月上旬に支部会で部員に配布した。



回収したエコキャップをまとめる部員

オリジナルグッズ製作

女性部は、2021年度ポイントカード制度で交換できるオリジナルグッズを製作した。21年3月から22年2月までの1年間でたまったポイント数に応じ、プレゼントするもの。同制度のプロジェクトチームがポイントを集計し、3月上旬に支部会で部員に配布した。

同制度は、年度ごとにポイントカードを発行



北支部 戸川寺脇下組1班
班長 杉山 幸子さん
私は、多くの方とコミュニケーションを取りたいと思い、女性部に入りました。しかし、コロナ禍で毎日家の中で過ごすことが多くなり、まるで見えないひもでくくられているような日々でした。

そんな中、北支部では、花の寄せ植え体験教室があり、私たちの班も参加しました。ハウスの中には色とりどりの花の鉢がたくさんあり、目移りしながら班の皆さんと楽しい時間を過ごしました。完成した花鉢は持ち帰り、庭に飾っています。寒い中でも元気に花が咲いていました。

世界の子どもに ワクチン届け エコキャップ運動

女性部は、社会福祉に貢献しようと「エコキャップ運動」に毎年取り組んでいます。2021年度のキャップ回収個数は、38万1453個でした。

ペットボトルキャップの売却益は世界の子どもたちにポリオワクチンを届けるNPO法人に寄付しています。2008年にスタートした運動は、これまでに約449万個を回収し、ワクチン444人分相当の金額を寄付しました。キャップの回収ボックスは、本所や各支所・支店の他、じばさんなど11カ所に設置しています。皆さまのご協力をお願いします。

4月の女性部行事予定表

3日(日)	10:00~生活協同組合パルシステム神奈川との「弘法山ハイキング」
4日(月)	13:30~本部役員会
11日(月)	9:30~支部役員会(北・西)
11日(月)	13:30~支部役員会(大根・南)
12日(火)	9:30~支部役員会(本町)
12日(火)	13:30~支部役員会(東・上)
18日(月)	10:00~プレミズ代表者会議
22日(金)	13:30~東支部「グラウンドゴルフ大会」
27日(水)	県女性組織協議会総会(書面議決)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

告知板

春まつり中止
のお知らせ

4月16日(土)、17日
(日)に予定していた「秦
野市園芸協会春まつり」
は、新型コロナウイルス
感染症の拡大防止のた
め、開催を中止します。

1 お問い合わせは生活福
祉課まで。☎72-766

うでピー用落花生
の出荷者募集

J Aは、冷凍ゆで落花生
生「うでピー」用の落花生
生出荷者を募集していま
す。「うでピー」は、農
家から集荷した落花生を
さやごとゆでて瞬時に冷
凍したもので、県の「か
ながわブランド」にも登
録されている秦野市の特
産品です。落花生をJ A
に出荷してみませんか。

●対象品種 郷の香
●出荷時期 8月上旬
●9月上旬

●昨年の買い取り価格
1キログラムあたり756円
(税込み)※A品の場合
●出荷方法 落花生を
指定のコンテナに入れ、
平沢にある加工所へ搬
入。有料でJ A職員によ
る庭先集荷も可能です。

「グラウンドゴルフ大会
と「ターゲットバードコ
ナウイルス感染症の拡大
防止のため、開催を延期
します。開催日や募集方
法などが決定しましたら
ら、改めてお知らせしま
すので、ご理解をお願い
する庭先集荷も可能です。

場 所	地 目	面 積 (平方 メートル)
鶴巻南4丁目741番1	畑	253
鶴巻南4丁目748番1	畑	406

見事に咲き誇れ青年部の思い

ネモフィラ畑 間もなく見頃

弘法山へぜひ来て



青年部が2021年11
月、弘法山の畑に種をま
いたネモフィラが、間も
なく見頃を迎えます。同
部の「花いっぱい運動」
の取り組みです。3月末
から4月上旬ごろに、開
花がピークになる見込み
です。

邦彦委員長長の提案で、初
めて弘法山での活動に取
り組みました。野生動物
に荒らされないよう電気
柵を設置したり、草取り
をしたりと管理してきま
した。3月に気温が高い
日が続いたことから次々
と開花。青や水色のかれ
んな花が、訪れた人の目
を楽しませてくれます。

ネモフィラ畑は、弘法
山展望所(曹屋4479
番地)付近に位置してい
ます。

技術センターの職員が、
危害分析重要管理点(H
ACCP)の考え方を取
り入れた衛生管理につ
いての講義を行います。午
後は、個別の相談をお受
けします。

お問い合わせは生活福
祉課まで。☎72-766

お申し込みは各支所・支店
または組織教育課まで。☎81-
7714

JAはだの、共に活動に参
加し合える組織づくりを目的
に、協同組合講座を開きます。
2022年度の受講者を募集し
ていますので、興味のある方は
ぜひご参加ください。

締め切りは4月8日(金)ま
です。

市内唯一の体験型農園を視察(昨年)

協同組合講座 受講してみませんか

JAはだの、共に活動に参
加し合える組織づくりを目的
に、協同組合講座を開きます。
2022年度の受講者を募集し
ていますので、興味のある方は
ぜひご参加ください。

締め切りは4月8日(金)ま
です。

市内唯一の体験型農園を視察(昨年)

協同組合講座 受講してみませんか

JAはだの、共に活動に参
加し合える組織づくりを目的
に、協同組合講座を開きます。
2022年度の受講者を募集し
ていますので、興味のある方は
ぜひご参加ください。

締め切りは4月8日(金)ま
です。

市内唯一の体験型農園を視察(昨年)

協同組合講座 受講してみませんか

組 合 員 講 座	組 合 員 基 礎 講 座
農業や地域、生活 など幅広いテーマ をもとに学習。座 学その他、市内の体 験型農園などを視 察。	協同組合やJAはだ のの取り組みを中 心とした基礎的な 学習。座学その他、 原市尊徳記念館の 視察や収穫体験な どを実施。
対象者	組合員とその家族
募集定員	各20人
期 間	2022年5月～2023年1月

募集 JA正職員

応募資格 2023年3月に大学または短大を卒業予定の方、
あるいは卒業後3年以内の方

募集人員 若干名

職 種 JA業務全般に携われる方

応募受付期間 4月28日(木)まで

応募方法 マイナビ2023のウェブサイトで「JAはだの」と検索して
ください。右記QRコードからもアクセスできます。

お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合 総務課
TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分～午後5時)

JA農機ハウスローン

農業の1つ
有ります

応援1 軽トラックの購入にも!

応援2 農業機械の購入にも!

応援3 ハウスの建設にも!

応援4 作業所・倉庫の設置にも!

JAグループ神奈川応援プログラム

利子補給事業

補給率 最長10年 最大 1.0%

JAが取り扱う全ての農業資金(公庫資金を除く)について、
最大1.0%(最長10年)の利子補給を行っています。
※貸付条件に合致したすべての方が対象となります。
※商品にはそれぞれ下限利率があり、貸付条件等によって補給率が異なります。
※延滞等が生じた場合、延滞した元金は利子補給対象外になります。
※「JA農機ハウスローン」については、全期間利子補給の対象となります。

保証料助成事業

実質 保証料 0円

JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金
協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助
成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたし
ます。
※一括前払い以外の方法により支払われた保証料については、助成の
対象となりません。

詳しくは 各支所・支店または融資課まで ☎0120-954-093

文芸の窓

「俳句」(酒井 敏光 選)
パンビにも黄色い帽子山笑ふ
石田陽子(ひばりヶ丘)
江の島の桜校墓碑や春日な
高橋 順子(大森町)
アニメの絵上手に描けて山笑ふ
柳川みち子(栄町)
春の泥迷彩服の大きな手
佐藤英美子(南矢名)
脳下しの直ちに効きぬ山笑ふ
森高 由子(沢沢)
山笑ふ昔の九九もあんなもの
高島美和子(名古屋)
土踏まず柔々立てり山微笑む
吉田 清美(沢沢)
山笑ふ無駄を大事と思ひけり
菊池としえ(菩提)
厳格な伯父の肩上山笑ふ
志賀 明子(千村)
疫病に混じて砲音春寒し
芦川 松江(八沢)
ホラ其処に驚の山笑ふ
石原 松枝(沢沢)
八十路ぞな膝の笑えは山もまた
選者
「短歌」(久保寺 富男 選)
一握りの露の暮摘み夕餉にて
安居院輝雄(上大槻)
初物食す苦味さわやか
初物を食せば、寿命
が75日延びるといふのである。落の墓
の味覚は、春そのものの、爽やかな苦み
に生命が凝縮されていると思う
枯れ庭にはつかぬ青める花の芽を
石田こずゑ(水神町)
夫は告げきぬ厨の吾に
霜枯れの庭に咲きたる福寿草
日に目に伸びて老いの身を励ます
水落美和江(鶴巻南)
担当が女性に変わり面会の
母のいでたち垢抜けにけり
八木 実(鶴巻北)
癒えて幾歳ならむ妻今日は
古希を迎えり雛の節句に
細田 富士(千村)
春近し狩川沿いのグラウンドゴルフ
老いの身励ましコースめぐりぬ
伊東 久(沢沢)
年ごとの手仕事として甘夏の
香り豊かにジャムを煮ていぬ
渡辺 照江(戸川)
向日葵の種持ちて行け死にたれば
咲かむとロシア兵詰るおんなは
選者
※選者による添削あり

今月の理事会

3月25日に理事会を開
催し、次のことを審議し
ました。
▽当組合における取引
のリスク評価書(特定事
業者作成書面等)の改正
について
▽個人情報保護法等の
改正に伴う関連規程類の
改正について
▽第59回通常総代会の
開催について
▽役員報酬案を総代
表の改正について
▽2021年度貸借対
照表、損益計算書、剰余
金処分案、注記表および
事業報告ならびにこれら
の附属明細書の監事およ
びのり監査法人への提
出について
▽2022年度(令和
4年度)指導事業の費用
に充てるための経費賦
課金についてを総代会
に附議する件について

農業用マルチ適正管理を

点検し強風対策しつかり

市内で、農業用マルチ
が風に飛ばされ、防災無
線に絡まる事例が発生し
ました。畑で使用中のマ
ルチや、保管している使
用済みのマルチが風によ
って飛ばされると、電線
などに絡まることであ
り、非常に危険です。
強風が予想される日の
前には、畑や保管場所を
点検して飛ばされないよ
うに対策するなど、マル
チの適切な管理をお願い
します。

春キャベツの甘みそ炒め

西支部 片倉 妙子さん



■材料(4人分)■
豚こま切れ肉 300
g、春キャベツ 1/2
個、シメジ 1株、A(み
そ大さじ1、しょうゆ
大さじ1、みりん大さ
じ1、砂糖大さじ1、鶏
がらスープの素小さじ
1/2、片栗粉小さじ2、
水大さじ2)、サラダ
油大さじ2
〈作り方〉
①キャベツは食べやすい大きさに切る。
②シメジは石づきを取り、ばらばらにする。
③Aを全て合わせる。
④フライパンにサラダ油を入れ、強火で豚肉と
キャベツ、シメジを炒める。
⑤豚肉に火が通り、キャベツがしんなりしたら
一度火を止める。③を回し入れ、中火で軽く
炒めたら完成。
〈ひとことアドバイス〉
これからの季節に出回る、柔らかい春キャ
ベツを使ったレシピです。特別な調味料を使わな
くても、短時間で簡単に作ることができます。

食と農を学ぼう

ちゃぐりんスクール参加者募集



J Aはだのは、市内の
小学4〜6年生を対象に
「ちゃぐりんスクール」
を開きます。秦野の特産
である落花生の収穫やイ
チゴ狩り、
茶の製造工
程見学など
全5回の力
育課まで。81-771
お問い合わせは組織教
育課まで。

ちゃぐりんスクールの落花生収
穫体験(昨年)

ごしください。

88歳(米寿)

▽本町地区 三川民江

▽東地区 小泉フサ

▽南地区 川口幸良

▽上今川町 森谷栄司

▽西地区 森谷栄司

▽堀川

77歳(喜寿)

▽大根地区 宮村俊男

▽北矢名

▽本町地区 川口陽三

▽北地区 今井市作

▽上地区 熊澤アイ子

▽柳川

家の光

今月の新刊

野菜の性質を生かして
驚くほどよく育つ
野菜づくりの
裏ワザ 決定版
木嶋利男 著

休日ローン相談会

ご来場の方に記念品を進呈
住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお
車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのお
相談を無料で承っております。どなたでもお気軽に
ご相談ください。
4月9日(土)
午前9時~午後4時 本所農業団地センター

休日年金相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。
日時・場所 **4月17日(日)** 午前9時~午後4時 本所農業団地センター
※どなたでもご相談いただけます。
※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。
信用課 TEL.81-7716 当日は0120-954-092

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前予約をお願いいたします
融資課 ☎ 0120-954-093 ホームページ「休日ローン相談会」から予約可
またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。 JAはだの Q 検索
※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。

市民農業塾始まる

良質な野菜育てたい いずれは就農し出荷

担い手の参入を後押し

はだの都市農業支援センターは「はだの市民農業塾」を毎年開講し、農業の担い手を育てている。「農業を始めたい」と考える市民のさまざまなニーズに対応しようと、三つのコースを開講。農業への関わり方を多角的に用意し、参入を後押ししている。

同塾は、①農業の基礎で学ぶ「新規就農コース」知識を講義で学ぶ「基礎」②農産加工品の製造・販売に必要知識を学ぶ「就農」③農産加工セミナーコースを目指し栽培技術を実習「農産加工セミナーコース」

9日には、堀山下の畑で新規就農コースの実習が始まった。露地野菜を栽培する伊藤さん(左)から受講生に管理機の使い方を教える和田委員長(右)。



管理機の使い方を伊藤さん(左)から学ぶ受講生

使い勝手が良く人気 秦野産えごま油販売中

JAはだのは、秦野産のえごまで作った「はだの生搾りえごま油」の今年の販売をスタートした。使い勝手の良さや健康効果への期待で、固定客が増加している人気の一品だ。



じばさんずで人気の「はだの生搾りえごま油」

ルチの敷き方など、農業の基本的な作業を学ぶながら、ジャガイモの種芋を植え付けた。受講生の米満潤さんは「基礎セミナーコースを」と意気込む。

園児がジャガ植え付け

上支所運営委が指導し交流

上支所運営委員会は11日、市立上幼稚園の敷地内の畑で、同園のジャガイモ植え付け体験に協力した。同会が取り組む食農教育活動の一環。和田委員長とJA職員が、園児8人に植え付け方を指導しながら交流した。和田委員長がキタアカリの種芋を約10個用意。等間隔に植えることや丁寧に土をかぶせることを伝えた。園児は和田委員長の手本を見ながら、作業を開始。「土がふかふか気持ちいい」「ジャガイモがいっぱいできるよ」と水やりを頑張るなど話しながら、一つ一つの畑に種芋を植え付けた。和田委員長は「子どもたちの笑顔に、自分も童心に帰ったと同時にやりがいを感じた。今後も栽培管理から収穫まで、しっかりとサポートしていきたい」と笑顔で話した。



ジャガイモの植え付け方を教える和田委員長(左)

接近! おじまはす

東京都で生まれ育った相原和夫さんは、就職を機に小田原市に移住。1975年には、妻の実家である現在の家に引っ越した。会社員時代に茶の刈り取り時期には作業を手伝ってきた。57歳で早期退職してから、農業を本格的にスタートした。

丹精した茶の出来に満足



菩提の相原和夫さん(70)

現在、48坪の茶園を管理。相原さんが丹精して育てた茶は品質が高く、昨年の県茶品評会で秦野市農業協同組合長賞、県茶園共進会で関東農政局長賞を受賞。秦野の茶業を支える存在になっている。相原さんは退職後に、茶畑を毎日散歩するようにして、茶畑の情報を積極的に交換し、刈り取り作業を共同で行っている。現在は買い物支援の車の運転手も務め、地域に貢献している。趣味は、手先の器用さを生かした物作り。印章や船の模型などの繊細なものから、チェーンソーアートや肥料倉庫にしている丸太小屋まで、多彩な作品を作り上げてきた。「不動の滝」にあるログテールも、相原さんが一から手掛けたものだ。今後について「茶の出来栄には満足している。妻と協力しながら継続して生産していきたい。愛犬と一緒に年を重ねていければ」と話した。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに??」

春といえば桜。開花が始まって、いよいよお花見シーズン到来だね。ピンクの花びらがとてもきれいなね。ちなみに、秦野市は食用八重桜が全国で有数の生産地なのを知ってた? それは知らなかったよ。やえのちゃん、詳しく教えて。千村地区を中心に、市内で江戸時代から栽培が始まった。当時は春の換金作物とし

食用八重桜の有数な産地

て農家が摘み取っていた。今も伝統を守り続けている。収穫した八重桜は特産品の塩漬けなどに加工されて、市内だけでなく全国各地に出荷されているのよ。じばさんずでもいろいろな桜の加工品を販売しているわ。私の名前の由来にもなっているのよ。そうだったんだね。歴史と伝統がある秦野の食用八重桜を多くの人に伝えていきたいな。教えてくれてありがとう、やえのちゃん。

より良いJA運営目指し 率直なご意見を

意見・要望の受付方法

今年度の「春の座談会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前回と同様に開催方法を変更し、組合員の皆さまのご意見・ご要望を、書面・FAX・メールで受け付けます。

ご意見・ご要望は、4月8日(金)までに下記の方法でお寄せください。なお、回答に必要となるため、住所や氏名を必ず記入・入力していただきますよう、お願いします。

- ①組合員訪問日に配布した「意見・要望書」を、各支所・支店に直接提出。またはFAXで組織教育課(84-1856)に送信。
- ②QRコードを読み取るか、専用メールアドレス(soshiki-iken@hdn.kn-ja.or.jp)宛てにメールを送信。



2021年度事業特集号の 発行に当たって

代表理事組合長 宮永 均



新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、私たち農業協同組合に教訓を残しました。このような危機的な状況は、我が国の食料・農業・地域に大きな影響を与えた他、緊迫化するウクライナ情勢も加わり、その影響は弱者をはじめとする少数の人たちにも及んでいます。

私たちは組合員はもとより、こうした弱い立場に立っている人たちに、農業協同組合の地域活動を通じて、思いやりを持って接するために

も、協同組合の理念である相互扶助の精神のもと、農業と地域に根差した組織としての社会的責任を誠実に果たさなければなりません。

「春の座談会」の開催方法の変更は、本意ではありませんが、JA運営に対するご意見やご要望はメールなどで受け付けさせていただきます。

組合員の皆さまの声をJA運営に反映させていただきますので、積極的にご意見をくださいますようお願い申し上げます。

2021年度協同活動トピックス

【5月】初の総代会を開催



総会制から総代会制に移行して初となる通常総代会を開きました。本人出席と書面議決合わせて596人の総代が、上程した7議案全てを可決しました。

JAは、2020年度まで総会を開いていましたが、1人1票の議決権を持つ正組合員の高齢化などの問題の他、コロナ禍でこれまでの出席人数での開催が困難となり、開催方法を検討してきました。21年からは、正組合員の代表として選出された総代による総代会に移行しました。

【8月】中学校給食の協定締結

秦野市と「中学校給食における地場産品の活用に関する協定書」を交わしました。市とJAの両者が連携し、新鮮な農産物を安定的に供給・活用する他、生産者の確保・育成と生産振興を図ることなどを取り決めました。

市内の中学校では昨年12月から給食がスタート。次世代を担う子どもたちに食と農の大切さを知ってもらい、地産地消の促進に結び付けていきます。



【10月】青パパイヤ初出荷

市内で初めて栽培が始まった青パパイヤが、出荷を迎えました。生産者は、多くの人に秦野産青パパイヤの魅力を知ってもらおうと、収穫作業に励みしました。

青パパイヤは、昨市内での導入が始まり、はだの都市農業支援センターが特産化を目指している品目。鳥獣被害を受けにくく、肥培管理も比較的簡単にできるため、生産者にとってメリットが大きい作物です。



【12月】児童へプロジェクト呼び掛け

女性部は、上小学校と広畑小学校で、全校児童へシトラスリボンプロジェクトのシンボルであるリボンを贈り、5・6年生にはプロジェクトの内容を伝えました。

リボンの3つの輪は「地域」「家庭」「学校」を表していることや、コロナ禍でも、誰もが笑顔で過ごせる地域づくりを目指していることなどを説明。家族と一緒に作れるように、リボンの結び方も教えました。



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス

第59回通常総代会を開催
第59回通常総代会を5月25日(水)午後1時30分からクアーズテック秦野カルチャーホール大ホールで開きます。総代会

は、JAの意思決定をする機関で、JAの運営や今後の取り組みを決定します。総代会で議決権があるのは総代だけです。総代以外の正組合員や准組合員も出席が可能です。意見陳述ができます。記

念品の引き換えやバスの送迎はありません。また、5月12日(木)・14日(土)に総代説明会を開催する予定です。詳しくは、機関紙「JAはだの」4月号に掲載しますので、ご確認ください。

組合員・地域とともに 歩むJAはだの

2021年度
活動の実績

JAはだののすがた

●2022年2月28日現在●()内は前年同期実績
●数字は単位未満切り捨て●この特集号の数値は速報値です

7 JAセレモニーホール
はだのの利用状況

施行件数 **254**件 (214件)

取扱高 **3億1**千万円 (2億9千万円)

8 便利で安心JAバンク

貯金残高 **2,372億9**千万円 (2,322億2千万円)

貸出金残高 **422億6**千万円 (424億円)

9 万ーに備えての共済

長期共済新契約高 **312億6**千万円 (396億8千万円)

長期共済保有高 **4,125億8**千万円 (4,232億5千万円)

1年間に支払った事故共済金額

【事故】**1,622**件 / **14億5**千万円 (1,557件 12億4千万円)

内訳

生命 **935**件 / **11億2**千万円 (746件 / 7億9千万円)

建物 **257**件 / **1億3**千万円 (321件 / 2億1千万円)

自動車 **430**件 / **1億9**千万円 (487件 / 2億4千万円)

その他 **なし** (3件 / 1千万円)

10 活動のみのり

当期剰余金 **4億4**千万円 (3億8千万円)

4 安全・安心な
農産物の供給

●「はだのじばさんず」を中心とした
新鮮で安全・安心な農産物の供給

●全体の取扱高 **18億5**千万円 (18億3千万円)

はだのじばさんずの利用状況

利用者総数 **48万2**千人 (48万3千人)

1日当たりの
利用者数 **1,370**人 (1,374人)

取扱高 **9億7,658**万円 (9億6,628万円)

1日当たりの
取扱金額 **277**万円 (274万円)

5 健康と福祉の取り組み

●JA健康寿命100歳プロジェクトの展開

人間ドック 受診者数 **753**人 (662人)

乳がん・子宮がん検診 受診者数 **40**人 (35人)

長寿記念品の贈呈 申請者数 **123**人 (146人)

6 生産資材や生活
物資の安定供給

●全体の供給高 **25億6**千万円 (30億円)

内訳

生産資材 **12**億円 (10億4千万円)

生活物資 **13億6**千万円 (19億6千万円)

※生活物資には、施設建設の取り扱いを含む
8億7千万円 (14億7千万円)

1 みんなの仲間

組合員数 **14,437**人 (14,485人)

内訳

正組合員 **2,816**人 (2,864人)

准組合員 **11,621**人 (11,621人)

組合員戸数 **11,946**戸 (11,952戸)

内訳

正組合員 **2,195**戸 (2,217戸)

准組合員 **9,751**戸 (9,735戸)

2 資本の状況

資本の合計 **158億8**千万円 (155億8千万円)

内訳

準備金・
積立金他 **142億4**千万円 (139億1千万円)

出資金 **16億4**千万円 (16億6千万円)

3 営農事業の
取り組み

●営農指導の充実

●営農指導員の計画的な育成と現場対応力の
強化

●販売TAC担当者による各種提案・相談機能の
充実

●はだの都市農業支援センターの
取り組み

●鳥獣被害の防止に向け「秦野市鳥獣被害対策
実施隊」と連携

●「はだの農業満喫CLUB」への加入促進
会員登録数 383人

2021年度貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案

貸借対照表

科目(資産の部)	金 額	科目(負債・純資産の部)	金 額
信用事業資産	243,999,412	信用事業負債	239,793,200
共済事業資産	2,844	共済事業負債	380,010
経済事業資産	186,227	経済事業負債	163,341
雑資産	285,350	雑負債	319,675
固定資産	2,847,710	諸引当金	426,290
外部出資	9,439,485	負債の部 合計	241,082,517
繰延税金資産	153,122	組合員資本	15,882,865
		評価・換算差額等	△51,228
		純資産の部 合計	15,831,636
資産の部 合計	256,914,153	負債・純資産の部 合計	256,914,153

剰余金処分案

科 目	金 額
1. 当期末処分剰余金	1,431,144
2. 剰余金処分額	466,315
(1) 任意積立金	350,000
事業基盤強化積立金	200,000
60周年記念事業積立金	150,000
(2) 出資配当金	33,804
(3) 事業分量配当金	82,511
3. 次期繰越剰余金	964,828

(注)1. 出資配当は2.0%の割合です。
2. 事業の利用分量に対する配当金の基準は、定期貯金・定期積金の年間平均残高10万円以上に対して、1万円につき10%の割合です。

損益計算書

科 目	金 額
1. 事業総利益	2,476,824
(1) 信用事業総利益	1,586,281
(2) 共済事業総利益	598,003
(3) 購買事業総利益	148,169
(4) 販売事業総利益	72,633
(5) 加工事業総利益	3,192
(6) 利用事業総利益	4,290
(7) 葬祭事業総利益	102,903
(8) 健康福祉事業総損失	1,488
(9) 教育広報事業総損失	9,180
(10) 組合員教育事業総損失	514
(11) 指導事業収支差額	△27,467
2. 事業管理費	2,033,210
事業利益	443,614
3. 事業外収益	165,848
4. 事業外費用	23,720
経常利益	585,743
5. 特別利益	1,463
6. 特別損失	7,304
税引前当期利益	579,902
法人税等合計	132,833
当期剰余金	447,069

JAはだの自己改革工程表

JAはだのは、2016年より創造的自己改革の実践に全力で取り組み、これまで営農指導体制の強化や販路拡大による販売力の強化、生産コストの低減対策などの取り組みをすすめてきました。今後とも、地域になくなくてはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「**不断の自己改革**」に取り組んでまいります。

※自己改革工程表とは…自己改革を実践するための具体的な方針

自己改革を実践するための具体的な方針

【下線項目は成果指標・目標値を設定しています】

①訪問活動や座談会を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。

②「**農業者の売上増加・コスト低減**」につながる担い手目線で必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「**所得増大**」を実現するほか、「**地域の活性化**」にも取り組みます。

- 農産物直売所出荷者などを対象として、次のことに取り組みます。
ア.はだのじばさんずの取扱高維持、イ.直売所利用者の拡大、ウ.地場産農産物の充実
- 中核的担い手や多様な担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
ア.生産者買取の拡大、イ.学校給食への農産物の安定供給
- 必要とする全ての者を対象として、次のことに取り組みます。
ア.仕入れ強化による生産資材の価格低減
- 「**地域の活性化**」に向けては、次のことに取り組みます。
ア.「ふるさとの味伝承活動」による食と農に対する理解促進、イ.フードドライブ活動の実施、ウ.地域見守り活動の展開

③改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、**不断の自己改革**を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話をはじめ、組合員訪問日による全戸訪問、春・秋の座談会、組合員のつどいなどを通じて「正組合員とともに、地域農業や地域社会の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行います。

また、准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「**農業者の所得増大**」につながるよう取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

管内の人口動向は減少傾向にあり、少子高齢化が進展しております。農業経営体は5年前と比較すると全体として5%程度減少し、農業生産額も下降傾向に推移していることに伴い、JAはだのの販売品販売高も減少している状況です。

こうした情勢のなか、JAはだのとして現状のまま事業改革をすすめなかった場合の5年後についてのシミュレーションを行ったところ、現状と比べて事業利益が大幅に減少する見通しとなりました。事業利益減少の要因は、収益の約8割を占めている信用共済事業の減収が見込まれることに加えて、経済事業の赤字が常態化していることにあります。

併せて、早期警戒制度の見直しにより、「**持続可能な収益性**」や「**将来にわたる健全性**」が求められたことを踏まえ、JAはだのでは金融事業の業務集約等の事業構造再構築に取り組み、健全で持続性のある経営を確立することが緊急の課題となっております。

JAはだの自己改革工程表（数値編）

農業者の所得増大・農業生産の拡大

重点目標

はだのじばさんずの取扱高維持（受託取扱高・累計）
対象者 直売所出荷者 想定 売上増加効果 2024年度 7億円

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

7億円

7億円

7億円

重点目標

生産者買取の拡大（生産者買取販売高）
対象者 中核的担い手や多様な担い手など 想定 売上増加効果 2024年度 4,600万円

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

3,600万円

4,100万円

4,600万円

重点目標

仕入れ強化による生産資材の価格低減（価格低減品目数・累計）
対象者 必要とする全ての者 想定 コスト低減効果 2024年度 10品目

1品目当たり
520～1270円

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

5品目

7品目

10品目

地域の活性化

重点目標

ふるさとの味伝承活動の展開（回数・人数）
2024年度 5回(50人)

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

3回(30人)

4回(40人)

5回(50人)

重点目標

フードドライブ活動の実施（回数・拠点数）
2024年度 3回(8カ所)

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

2回(7カ所)

2回(8カ所)

3回(8カ所)

経営基盤の確立・強化

重点目標

金融店舗の業務集約
2024年度 機能別店舗類型に基づいた金融・共済事業の機能再編

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

第1次再編

検討

第2次再編

重点目標

管理費用の抑制
2024年度 業務効率化による管理費抑制

成果指標・目標値

2022年度目標

2023年度目標

2024年度目標

検討

前年比1%

前年比1%

対話・意思反映

項目	2021年度計画	2021年度実績	2022年度計画
組合員訪問日（回数・訪問世帯数）	12回・12,000世帯／回	12回・12,000世帯／回 ポスト投函での対応月あり	12回・11,000世帯／回
春・秋の座談会（回数・出席人数）	2回・1,000人／回	書面とメールで受付(2回)	2回・1,000人／回
支所運営委員会（回数）	49回 ※イベントの企画回数	13回	14回



JAはだの「第六次中期経営計画」骨子について

1. 策定にあたって

JAはだでは、中長期的な視野に基づき取り組む事項を整理するため、3年ごとに中期経営計画を策定しています。これは組合員とともに、役職員が実践するための

行動計画であり、全ての関係者が理解・共有し、それぞれの役割を十分に発揮するための実践計画です。
「第六次中期経営計画」(2022～2024年度)においても、これまで積み重ねてきた自己改革の歩みを止めることなく、より一層組合員の声を聴き、食と農を基軸とした

「不断の自己改革」を進めていきます。また、農業やJAを取り巻く劇的な環境変化によるビジネスモデルの変革期を迎える中、事業構造の再構築に取り組み、組合員の営農や暮らし、地域の活性化に資するJAの役割を十分に発揮していきます。

2. JAはだの使命

地域におけるJAの役割を果たすため、3つの使命「次代につなぐ秦野農業」「農業者の所得増大」「豊かなくらしづくり」を掲げ、食と農を基軸とした地域協同組合として産地づくり・地域づくりに貢献します。

産地づくり

①次代につなぐ秦野農業

多面的機能を有する農地と、農家が紡いできた地域

②農業者の所得増大

地産地消の考えに基づき、農業生産の拡大とともに消費者ニーズに対応した安全・安心な地場産農産物の安定供給に取り組み、農業者の所得増大に貢献します。



地域づくり

③豊かなくらしづくり

総合事業を通じて、地域の生活インフラ機能を最大限発揮し、地域になくってはならない存在として組合員の豊かなくらしを支えます。

人づくり

JA職員と組合員に共通した人づくりの指針として「学び、実践する」という「行動規範(バリュー)」を掲げます。

3. 第六次中期経営計画の骨子

JAはだの3つの使命に対応するとともに、これらを効果的に実行するための土台となる基本目標として、以下の4点を掲げます。

基本目標Ⅰ 持続可能な地域農業の確立

- ①営農指導の充実
- ②農業生産基盤の維持・継続
- ③コスト削減と環境負荷に配慮した生産支援

基本目標Ⅱ 地産地消を中心とした販売力強化

- ①はだのじばさんずの販売拡大
- ②買取販売の拡大
- ③学校給食への農産物の安定供給

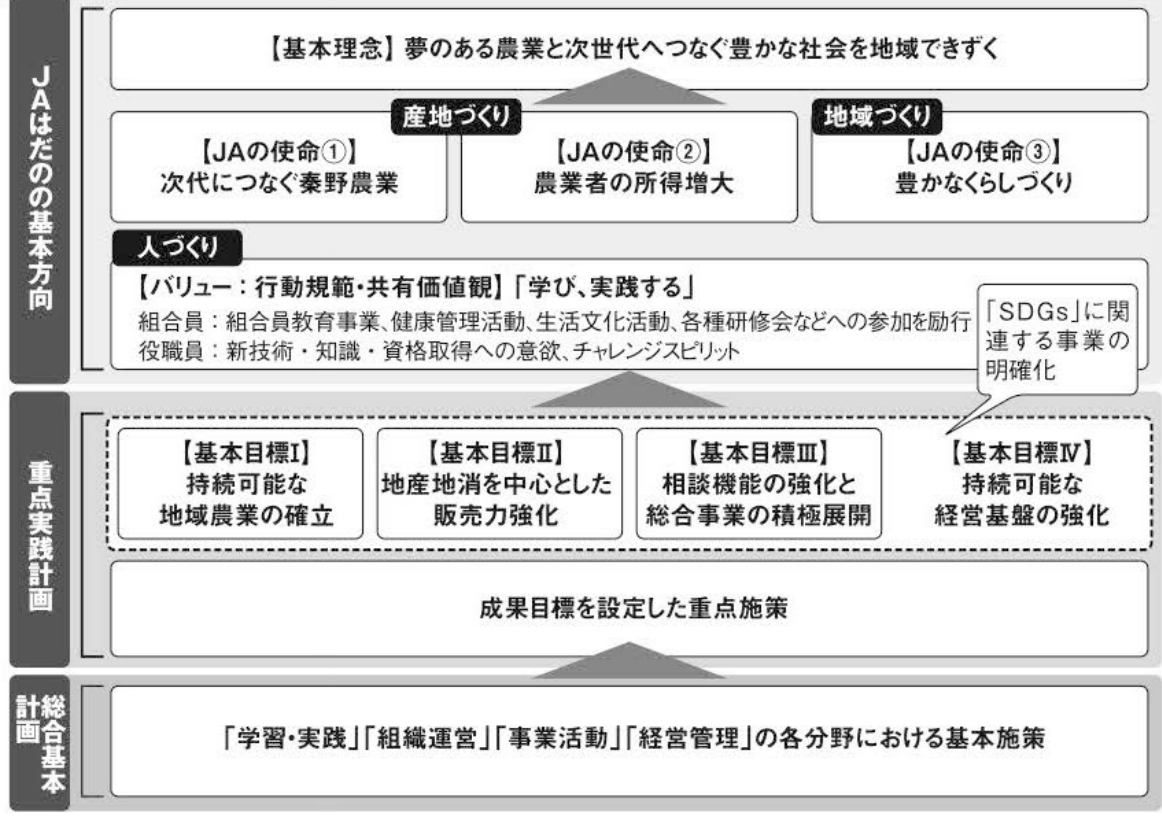
基本目標Ⅲ 相談機能の強化と総合事業の積極展開

- ①資産相談センターの設置
- ②専門的な金融相談機能の強化
- ③日常的な金融・共済相談機能の維持
- ④非対面取引の充実と利便性の向上

基本目標Ⅳ 持続可能な経営基盤の強化

- ①事業再構築の実践

JAはだの「第六次中期経営計画」の全体像



2022年度の事業計画について(抜粋)

基本方針

JAはだのは、農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化に資するべく「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に「第六次中期経営計画(2022～2024年度)」初年度の実践に取り組みます。

基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域でさぐく」の実現を目指し、さらなる地域農業振興と持続可能な地域社会づくりに取り組んでまいります。

重点実践計画

1 持続可能な地域農業の確立

(1) 営農指導の充実

- ① 営農指導員・TAC(地域農業の担い手)に出向くJA担当者による面談

- 件数 1,800件
- ② ICT(情報通信技術)の活用システム数 3システム

(2) 農業生産基盤の維持・継続

- ① 新規就農者数 3人
- ② 中核的な担い手農家数 103人
- ③ はだのじばさんず大口出荷者数 45人
- ④ 狩猟免許新規取得者数 15人
- ⑤ 新規農産加工起業家数 1人

(3) コスト削減と環境負荷に配慮した生産支援

- ① 生産資材の価格削減品目数 5品目
- ② 環境配慮型資材の取扱割合 10%増

2 地産地消を中心とした販売力強化

(1) はだのじばさんずの販売拡大

- ① 取扱高(税込み) 10億8千8百万円
- ② 利用者数 50万5,000人
- ③ 地場産率 70%

- ④ 新規出荷者数 15人
- ⑤ 呼び戻し出荷者数 5人

(2) 買取販売の拡大

- ① 販売業者 19社
- ② 買取販売高 3億2千4百万円
- ③ 生産者買取販売高 3千6百万円

(3) 学校給食への農産物の安定供給

- ① 中学校給食出荷者数 50人以上

3 相談機能の強化と総合事業の積極展開

(1) 資産相談センターの設置に向けた準備

(2) 専門的な金融相談機能の強化

- ① 事業資金の新規取扱件数 24件
- ② 投資信託残高増加率 前年比30%
- ③ 遺言信託成約数 15件

(3) 日常的な金融・共済相談機能の維持

- ① 農業資金の新規取扱件数 30件

- ② 住宅・マイカー・教育資金の新規取扱件数 120件
- ③ 渉外による3Q活動人数 6,000人

(4) 非対面取引の充実と利便性の向上

- ① 法人・個人インターネットバンキング新規契約件数 200件
- ② JAバンクアプリ新規登録件数 200件
- ③ ペーパーレス・キャッシュレス新規契約率 90%以上

4 持続可能な経営基盤の強化

(1) 事業再構築の実践

- ① 支所・支店の業務集約実行 第1次再編
- ② 業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)化 1業務
- ③ 老朽化した西支所・北支所の建て替えに向けた準備
- ④ 業務の効率化による管理費用の抑制
- ⑤ 経済事業の収支改善額 1千万円